

# 2023年9月10日 主日礼拝

司 会 ①村上兄 ②佐藤兄 ③佐々木兄(川田姉)  
祈 禱  
奏 楽

贊 美 聖歌472番「人生の海のあらしに」  
(勝利勝利ハレルヤ！)(主をほめよ我が魂)  
三つの愛

聖 書 ① 詩篇16篇8～11節 (P759)  
②③ 創世記章3章9節 (P3)

音 楽 マザーテレサの祈り(V)

メッセージ ① 「喜び楽しみがある」 久保田豊副牧師  
②③ 「あなたはどこにいるのか」 平岡修治先生

贊 美 「明日はどんな日か」 献金  
頌 栄 「主の祈り」 アーメン  
祝 禱 大川従道主任牧師

「愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、  
あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、  
わたしは祈っている。」(Ⅲヨハネの二)

## 【大和ニュース】

☆本日、平岡修治先生をお迎えできて心から感謝いたします。主の祝福を祈ります。

・ 本日、SS 主任会(12:45)、J.PLUS(14:30 青年・学生・中高生集合！森チャペル)。

第4礼拝(18:00)。説教は森屋副牧師「火の鳥とイエス様」。泉チャペルにて。

\* 東京カルバリーは、月1回、本日16:00。広尾の教会。説教は大川牧師。

\* 今週の祈禱会は SP。水夜は武井博先生(V)、木曜朝はチョウヨンギ先生(V・日本語)。

\* 宮田四郎兄のご奉仕のためお祈り下さい。本日瀬戸、17日八尾、24日茨木。

・ 土曜は生花。CBS プラス(10:00森)、掃除(12:00)、聖歌隊練習(13:30)。木曜はヌイヌイ。

\* 主日礼拝人数 ①90(243) ②196人(184) ③275人(316) ④19人=1323人

定例祈禱会 水曜63人(142) 木曜126人(97)=428人 ※(\*)内は YouTube のライブ人数

## 石の枕

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」という詩は、どなたもご存知であろうと思う。

「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ 欲ハナク 決シテ怒ラズ イツモシズカニワラツテイル」で始まる詩は、私たちの心に深く馴染んでいる。

当時、花巻に、斎藤宗次郎という青年がいた。宗次郎は、師範学校を卒業すると、小学校の教員になった。彼は内村鑑三の文章を読んでクリスチャンになる。内村は、当時、非戦の思想を教える。彼はそのために教員を首になり、新聞配達を始めた。

花巻の町を家から家へと走りながら、彼は基督教の伝道に励むようになる。しばらく行っては祈り、さらに歩いてはまた感謝し、木陰や小川のほとりで祈りを捧げたという。

そのうち、花巻農学校の教師をしていた宮沢賢治と知り合い、交流が始まった。宗次郎は、新聞配達をしながら、「東ニ病氣ノコドモアレバ 行ッテ看病シテヤリ 西ニツカレタ母アレバ 行ッテソノ稲ノ束ヲオウ」というような生活を送った。

そして、彼は、町の人から「デクノボウ」とあざけり呼ばれたのである。

賢治が「ソウイウモノニ ワタシハナリタイ」と憧れたのは、このクリスチャン斎藤宗次郎の生き方であった。しかし、その事実がわかったのは、宗次郎の死後、彼の日記が発見されてからであった。そして今もそれを知る人は少ない。

東北の町に生きた無名のクリスチャン、斎藤宗次郎は、賢治の詩の中に今も生き続ける。

「デクノボウ」の「デク」とは、あやつり人形のことである。そう言えば、彼はイエス様のあやつり人形そのものであった。「生きているのは、もはや私ではない。キリストが私のうちに生きているのである」。(これは2020年に召天された武井師の文です)

現代人は「花巻」というと、すぐ野球の大谷翔平選手を思い出しますが、上記の宮沢賢治や斎藤宗次郎のことも心に留め祈りたいと思います。

最近の大川牧師の説教によると、私たちが召天したら、地上の人々のために祈ることができるのは、何と素晴らしいことでしょう。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース: IIコリント2章~8章 Bコース: 箴言17章~31章